

# 会 議 録

作成日 令和3年11月29日

日	令和3年11月26日(金)	時間	10:00~11:30	場所	市民会館3階会議室
件名	令和3年度 第2回糸魚川市地域自立支援協議会				
出席者	【出席者】 委員：斉藤委員、牛木委員、岡尾委員、横澤委員、吉井委員、田中委員 芋川委員、安井委員、岡崎委員、大久保委員、山本委員 事務局：地域生活支援センターこまくさ 内藤管理者、磯貝相談員 福祉事務所 嶋田所長、山岸係長、横澤主査				
	【欠席者】大谷委員、猪又委員、北村委員				
	傍聴者定員		一人	傍聴者数	0人

## 会議要旨

進行(事務局)

### 1 開会

要綱の規定により、委員の半数の出席で成立するとあるため、本会は成立します。  
本年度委員の改選をさせていただき、令和6年3月31日までの委嘱になります。

### 2 福祉事務所長あいさつ

今年度は、第6期ささえあいプラン初年度ということで、障害福祉や保健・医療と関係する皆様と事業を進めております。この協議会ではささえあいプランの進行状況を確認いただき、内容をそれぞれの団体にもお返しいただけたらと思っております。本日は、よろしくお願い致します。

### 3 自己紹介

委員から自己紹介をいただく。

### 4 会長、副会長の選任

要綱第5条第1項により委員からの互選により、会長に身体障害社会の斎藤委員、副会長にクレヨンの会の牛木委員が選出された。

### 5 会長挨拶

各種団体の皆様からお集まりいただき、貴重なご意見をお聞かせいただきたい。

### 6. 報告・協議事項

#### (1) 第6期糸魚川市ささえあいプラン説明

事務局よりパワーポイントで、市民アンケート結果、障害者団体からのグループインタビューからの意見、施策の6本の柱、具体的な政策について説明。

#### (2) 各部会の活動状況について(資料No.1)

配付の資料をもとに、各部会の担当事務局より説明。

(3) 令和3年度ささえあいプランの取組について (資料No.2)

配付の資料をもとに、担当事務局より説明。

7. 意見交換・情報交換

- (委員) 7月に街歩き体験をしたが段差や木の根の盛り上がりがあり歩くにくいところがあった。バス停もベンチがないところがあった。災害時の訓練も誰と一緒に避難してくれるのか。会員は障害者なので活動の手助けをしてくれるボランティアさんがいて欲しい。
- (委員) 災害時の避難方法、場所を知りたい。  
子どもがコロナに感染した場合、一人での入院が難しいがどうすればいいか。
- (事務局) 事前に担当の相談支援専門員と相談いただきたい。
- (委員) 会として集まる機会が減っている。子どもの将来の生活について、グループホーム開設が進んでいるが自立支援協議会があったためだと思う。
- (委員) 就労支援事業所から就職された方がたくさんいるが、PRをし新しい利用者を紹介いただきたい。就労支援事業所を知らない保護者にも発信していきたい。
- (委員) コロナのクラスター対応が大変だった。事業所として人材の確保を進めていきたい。
- (委員) 能生グループホームは、空き家活用から新規建設の方向で進んでいる。  
今年度はグループホームの場の確保、令和4年度は国の補助金申請、令和5年度開設を目指している。
- (委員) 事業所開設からかなり年経過し、大規模修繕が必要になっている。42名が利用されているが高齢者、重度障害者の方もいて生産性も低下しており厳しい状況。  
バスで通所している方が事故や雪で遅れた時、バス会社のご理解と配慮をいただきたい。
- (委員) 人工呼吸器をつけた難病の方の避難計画を作成している。  
レスパイト入院は子どもだけでなく、成人も受け入れられると良い。
- (委員) コロナで一時求人も減ったが少しずつ良くなっている。
- (委員) 以前と比べると福祉が進んでいる。ボランティアをやる人材がいたが、今はする人がいない。市民に知らせて協力してもらいやれるといい。  
利用者に精神障害の方が多くなっており対応に悩んでいる。
- (委員) 地域活動支援センターの職員の研修が必要。ヘルパーは利用者宅への移動距離の負担がある。